



西崎 櫻鼓 (にしぎき さくらこ)

2022年春より芸能の原点・佐渡に移住し、東京と行き来しながらの生活をおくる。2歳から日本舞踊を始め同年初舞台を踏む。西崎緑江、西崎絵壬乃、坂東鼓登治に師事。幼少期、山本ひさし主宰『むらさき座』に傾城阿波鳴門の巡礼おつる、伽羅先代萩の千松役などで出演。7才で韓国テジョン万博に最年少で10日間出演。2008年西崎流みどり会会長・西崎緑江師の後継者として西崎櫻鼓を襲名し、同時に超流派舞踊家集団「おどりの空間」に入り、国内外の公演に多数出演。演出・主演によるリサイタル『櫻鼓infinity』『櫻鼓・龍葉二人会』、ピアニストMon'とヴァイオリニスト夢路とのコラボ公演や、外部の公演・イベントにも多数出演。子供歌舞伎や丸の内朝大学講師のほか、自身の教室も持ち師匠業も行う。2021年11月、2023年12月、櫻鼓一門會を開催。昨今は演出や振付にも取り組むなど、幅広く活動中。

藤本 容子 (ふじもと ようこ)

1976年「佐渡の國鬼太鼓座」に入座、1981年「鼓童」創設メンバー。3年間舞台を務めた後、機関誌編集と研修生指導に携わる。1989年より、加えて舞台活動を再開。鼓童の舞台や小編成に参加。ソロ活動、また藤本吉利との「二人行脚」の活動を展開。1998年唄のワークショップ「Voice Circle」を立ち上げる。2012年、鼓童名誉団員に選定。2008年に初のソロアルバム「morisa komorisa」、2014年に第2弾「やまず めぐるも」、そして2020年には、鼓童初の唄のアルバム「佐渡物語り～ゆめのうつつ～」を発表。現在「Voice Circle」は、歌の「是空(ゼクウ)」、声の「環(Kwan)」として新しく展開中。



藤本 吉利 (ふじもと よしかず)

1972年「佐渡の國鬼太鼓座」に入座、1981年「鼓童」創設メンバー。これまで数々の舞台に立ち、「大太鼓」や「屋台囃子」といった舞台のクライマックスを飾った鼓童の最年長。1998年に「岩崎鬼剣舞」より習得の証である「印可之証」を受け、「岩崎佐渡鬼剣舞」の庭元を務める。近年はゲスト出演や研修生の指導、ワークショップ講師、藤本容子との唄と太鼓の「二人行脚」など、幅広い活動を行っている。「鼓童」の名前の由来同様、永遠に太鼓の「童」でありたいと願い太鼓大好き人間。2012年、鼓童名誉団員に選定。2012年度文化庁文化交流使として中国を訪問。2018年に太鼓歴50周年を迎え、記念著書「藤本吉利 たいこわらべ五十年」を出版した。



Mon“Design-NeT” (もん)

広島出身。東京音楽大学在学中より様々なジャンルのアーティストを集い舞台興行を行う。様々なジャンルの舞台や映画の楽曲制作・音楽指導・音楽監督を担う。[HALE to KE～ハレとケ～] (二胡+ピアノ+津軽三味線+TAPダンス)としても活躍。

村 尚也 (むら なおや)

古典芸能(日本舞踊・能・歌舞伎・文楽)の演出、評論、振付。テレビ・ラジオで日本舞踊やしぐさの文化などについて解説。1981年、超流派の舞踊家集団『おどりの空間』を結成、主宰。国内外で公演を続ける。連載や著作多数。



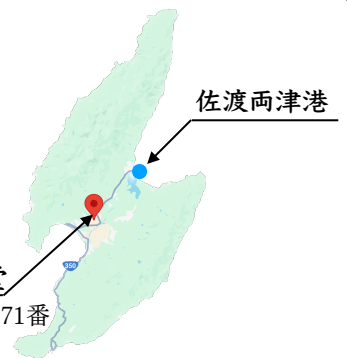
【金井能楽堂】 ※ 9:25発～11:55着のカーフェリーもあります。

新潟港 万代島埠頭
11:30 発 ジェットフォイル
↓
佐渡両津港
12:37 着
↓ (徒歩3分)
両津港佐渡汽船 新潟交通佐渡本線
「相川」行きバス 12:50 発

「農業技術センター」 13:20 着
バス停下車

(徒歩1分)
「金井能楽堂」

金井能楽堂
佐渡市中興甲371番



～ 春の佐渡へ 一緒に旅に出ませんか? ～

櫻鼓は昨年、佐渡の芸術と自然、そして島の人たちの優しさに惚れ込んで移住を決意しました。佐渡は悲しみを知っている優しい島です。そして芸能の原点が静かに眠る島です。島の方々への恩返し、そして佐渡を知らない方には是非佐渡という島に出会って頂きたく、この度、島の方々にご協力いただいで公演をさせていただきます。この機会に是非佐渡へいらしてください。公演翌日、櫻鼓や村たちとの佐渡芸能ツアー催行予定！詳細は後報★